

平成 29 年度 建設部 「実行宣言」

建設部長 小山 誠

『松阪市総合計画～住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪～』の担当政策

- 2 いつまでもいきいきと（福祉・健康づくり）
- 5 安全・安心な生活（防犯・防災）
- 6 快適な生活（生活基盤の整備）

基本方針

建設部は、災害から市民を守り、安全で安心な生活環境を確保するために、道路、河川、公園、住宅等の生活基盤の整備促進、将来における各施設の長寿命化や安全対策の強化、日々の維持管理に努め、市民が幸せを感じ楽しく生活できる、うるおいあるまちづくりを推進します。また、社会経済情勢の変化に対応した松阪市の将来都市像、土地利用計画、まちづくりの見直しを進めるとともに、市の魅力を後世に伝えるために歴史、文化、景観等の地域の特性を生かしたまちづくりをめざします。

本年度は特に、

- ① 市民の「安全・安心な生活」を実現するため、床上浸水ゼロを目標に浸水被害の軽減効果が早期に発揮される事業を行う。
- ② 市民の「快適な生活」を実現するため、安全な道路と市民が憩う公園のあるまちをめざし、道路の整備や橋りょう・トンネルの予防保全による長寿命化を計画的に進めるとともに、松阪市総合運動公園の建設や公園の遊具や施設の適切な管理を行う。
- ③ 道路等の維持管理にあたっては、地域住民の要望に対し十分な調整、協議を行い、優先順位を決定し、迅速な整備、事故防止に努めるとともに、道路パトロール等により破損箇所等の早期発見と補修を進める。
- ④ 「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に基づき、市営住宅の適正な管理運営、意見書の実現に向けて業務の推進を図る。
- ⑤ 市所管の公有財産（道路、河川、水路等）の境界確認と公共事業用地の取得に伴い、迅速かつ正確な事務処理を行う。
- ⑥ 松阪市の美しく豊かな景観を、次世代まで継承していくために、松阪市景観計画の見直しを行う。
- ⑦ 松阪市の顔である中心市街地が元気で魅力あるまちになるよう、公共施設を中心とした実効性のある「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画を作成する。
- ⑧ 松阪市の都市計画に関する基本的な方針を示した「松阪市都市計画マスタープラン」の見直しを行い、また都市機能の増進に著しく寄与する施設の立地の適正を図るための計画（立地適正化計画）の作成に取り組む。
- ⑨ 松阪市で実施する公共施設内での営繕工事及びその関連業務を行う中で、安全で安心して使用できる施設の構築、快適で機能の充実した施設とすることをめざす。
- ⑩ 建築確認・許可等の建築基準法に関する全ての事務・開発指導は、適切かつ円滑に対応し、開発許可の権限移譲についても検討していく。
- ⑪ 平成 29 年度の組織機構改革に伴い北部建設保全事務所と西部建設保全事務所が建設部直轄となり、地域振興局との連携を図り、地域住民の要望に対応する。

期首宣言シート

⑫ 台風、集中豪雨、地震、津波等における災害対策の取組として、休日・祝日等には注意報発令時から担当職員を配置し、国・県の道路規制情報や河川水位状況等の情報収集を行い、警報時には災害時職員配備体制を直ちに召集し対応する。
などに取り組んでいきます。

実行宣言

- ①安全・安心インフラ、生活インフラの整備を進めます！ (土木課)
- ②地域における住環境の整備を進めます！ (建設保全課)
- ③「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！ (住宅課)
- ④迅速で正確な事務処理を行います！ (用地対策課)
- ⑤市民が住みやすく誇りをもつことが出来るまちづくりの方針を示します！ (都市計画課)
- ⑥営繕工事を適正に実施します！ (営繕課)
- ⑦適切かつ円滑な建築・開発行政を行います！ (建築開発課)

マネジメント方針

- ・毎日の朝礼の実施と毎週1回課長以上でミーティングを持ち、情報共有を行います。
- ・時間外を平成28年度実績より5%削減します。

組織マネジメントシート

宣言①	安全・安心インフラ、生活インフラの整備を進めます！		
担当	土木課		
『総合計画』の施策との関わり	5-⑥ 浸水対策の充実 6-⑥ 道路・公園の整備		
組織紹介	<p>土木課は、市民の「安全・安心な生活」を実現するため、床上浸水ゼロを目標に三重県河川部局・松阪市上下水道部との連携強化を図り、中小河川の改修や市街地の排水路整備など、浸水被害の軽減効果が早期に発揮される事業を進めるとともに、台風等の自然災害に対しては、関係機関と連携を密にした情報共有により警戒態勢を強化し、公共土木施設が被災した場合は、災害復旧事業等により迅速に道路や河川の機能回復に努めます。</p> <p>併せて、市民の「快適な生活」を実現するため、安全な道路と市民が憩う公園のあるまちをめざし、市民や関係機関・団体と連携しながら、幹線道路や市民生活に欠かせない道路の整備や橋りょう・トンネルの予防保全による長寿命化を計画的に進めるとともに、スポーツやレクリエーションなど多様化する市民ニーズに対応した松阪市総合運動公園の建設や市民の誰もが気軽に安心して利用できるよう公園の遊具や施設の適切な管理を進めます。</p> <p>土木課では、これらの取組により、市民が安全で安心な、また快適な生活が営まれるまちづくりをめざします。</p>		

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金	工事施行延長（他事業区間を含む）	128m	5-⑥	—	—
2	急傾斜地崩壊対策事業費	工事施行延長	21.5m	5-⑥	—	—
3	三重県社会基盤整備協会負担金	協会に関係する会合への参加	5回	5-⑥ 6-⑥	—	—
4	島田北10号線道路新設事業費	県との事業調整協議回数	3回	6-⑥	—	—
5	道路整備単独事業費	事業完了予定路線数	3路線	6-⑥	—	—
6	星合舞出線道路改良事業費	期末の事業進捗率	47%	6-⑥	—	—
7	松阪六軒線道路改良事業費	期末の事業進捗率	75%	6-⑥	—	—
8	国道42号松阪多気バイパス関連整備事業費	事業実施箇所	1箇所	6-⑥	—	—
9	橋りょう長寿命化事業費	工事実施橋りょう数	1橋	6-⑥	—	—
10	浸水対策事業費	河川及び排水路の整備延長	300m	5-⑥	—	—
11	最終処分場関連道路等整備事業費	事業実施路線数	3路線	6-⑥	—	—
12	総合雨水対策10か年戦略事業費	事業着手箇所数	1箇所	5-⑥	—	—
13	道路橋りょう一般経費	コスト削減率（H28年度当初予算対比）	1%	—	—	—
14	河川改良単独事業費	年間の整備延長	120m	5-⑥	—	—
15	県施行海岸環境整備事業負担金	海開き前の環境整備（海岸清掃）実施回数	1回	6-⑥	—	—
16	準用河川九手川改修事業費	期末の用地取得率	67%	5-⑥	—	—

組織マネジメントシート

17	河川一般経費	コスト削減率（H28 年度当初予算対比）	1%	—	—	—
18	県施行松阪港改修事業負担金	期末の工事進捗率（セメント配管）	100%	6-⑥	—	—
19	港湾管理一般経費	要望活動の実施	1回	—	—	—
20	県施行街路事業負担金	年間の事業進捗率	2%	6-⑥	—	—
21	都市公園維持管理事業費	定期的な清掃等の実施	月1回	6-⑥	—	—
22	都市公園整備事業費	四阿建て替え	1棟	6-⑥	—	—
23	総合運動公園整備事業費 （単独）	期末の整備率	90%	6-⑥	—	—
24	総合運動公園整備事業費 （補助）					
25	公園一般経費	都市緑化推進運動のPR活動	2回	—	—	—
26	道路橋りょう災害復旧事業費	被災した施設の復旧率（国災は除く）	90%	5-⑥	—	—
27	河川災害復旧事業費	被災した施設の復旧率（国災は除く）	80%	5-⑥	—	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）						
評価理由（期末記入欄）						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
—	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）	
評価理由（期末記入欄）	

組織マネジメントシート

宣言②	地域における住環境の整備を進めます！		
担当	建設保全課		
『総合計画』の施策との関わり	5-① 交通安全対策の充実 5-⑥ 浸水対策の充実 6-⑥ 道路・公園の整備		
組織紹介	建設保全課は、生活道路や小河川、排水路などの管理を行っています。 施設の老朽化などの課題がありますが、側溝修繕や道路舗装などを行うことにより、市民からいただく多種多様な要望に対する取組及び安全で快適な生活空間の維持に努めています。 昨年度は、要望に対しての地元調整及び地域間バランス、交通弱者に配慮した交通環境の整備、不法占用物件に対する指導を行ってきました。 平成 29 年度も引き続き、①地域住民の要望に対する十分な調整や協議、②優先順位を考慮した事業実施と工事等の早期発注、③素早い現場確認及び適切な判断と処理、④交通安全対策事業として、事故が起きた箇所、危険箇所に対する迅速な整備に努めていきたいと考えています。		

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	道路維持修繕事業費	要望に対する実施達成率	65%	6-⑥	—	—
2	道路清掃等事業費	清掃を行う箇所数	48 箇所	6-⑥	—	—
3	雪寒対策道路維持事業費	積雪回数を上回る凍結防止対策回数	1 回	6-⑥	—	—
4	道路台帳整備事業費	測量調査距離数	20km	6-⑥	—	—
5	街路樹剪定等事業費	保全に適さない樹木伐採本数	20 本	6-⑥	—	—
6	道路施設点検事業費	道路照明点検数	120 基	6-⑥	—	—
7	最終処分場関連維持修繕事業費	側溝整備の延長	240m	6-⑥	—	—
8	道路維持一般経費	LED への更新個数	5 本	—	—	—
9	中川駅前・連絡道管理事業費	カメラの設置	2 台	6-⑥	—	—
10	河川維持修繕事業費	要望に対する実施達成率	65%	5-⑥	—	—
11	樋門・樋管等管理事業費	電気代の節約	5%	5-⑥	—	—
12	調整池管理事業費	電気代の節約	5%	5-⑥	—	—
13	水防施設管理事業費	土のう袋の倉庫配備数	19,000 袋	5-⑥	—	—
14	水防一般経費	ライフジャケット購入数	50 着	—	—	—
15	交通安全施設修繕事業費	ガードレール修繕延長	200m	5-①	—	—
16	交通安全対策施設整備事業費	カーブミラー設置数	100 基	5-①	—	—
17	道路事故対策緊急整備事業費	区画線整備延長	22 km	5-①	—	—

評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)

組織マネジメントシート

評価理由（期末記入欄）

その他の取組について

取組名称

期末評価

—

—

評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）

評価理由（期末記入欄）

組織マネジメントシート

宣言③	「今後の市営住宅のあり方に関する意見書」に沿った業務を進めます！
担当	住宅課
『総合計画』の施策との関わり	2-④ 地域福祉・生活支援の充実
組織紹介	<p>住宅課では、住宅に困窮する低所得者等に対して、昭和40年代以降を中心に市営住宅の整備を進め、現在では改良住宅等も含め管理戸数が1,675戸となっており、それら市営住宅及び関連施設の管理、住宅の入退去事務、使用料の徴収、不正入居、悪質滞納者への対応などを行っています。</p> <p>また、公共施設マネジメントの一環として、平成27・28年度に学識経験者や入居者代表などからなる「松阪市営住宅あり方検討委員会」が9回開催され、必要戸数、老朽化対策、風呂の設置、住宅使用料、駐車場使用料、指定管理者制度などに関して、市長に対し意見書が提出されました。</p> <p>平成29年度は、市営住宅の適正な管理運営の向上をはじめ、意見書により頂いた事項の実現に向けて業務の推進を図ってまいります。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	市営住宅管理運営事業費	①現年度家賃の徴収率の向上 ②市営住宅老朽化対策としての住替え	① 98% ② 11戸	2-④	—	—
2	市営住宅維持修繕費	団地内防犯灯のLED化	38基	—	—	—
3	市営住宅修繕工事費	物置改修、ベランダ手摺塗装	112戸	—	—	—
4	公営住宅ストック改善事業費	屋上防水、外壁改修、受水槽改修	10棟	—	—	—
5	(住新)一般管理費	滞納に関する現況の調査・整理	100%	—	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
各種入居者説明会等を開催し周知と意見聴取	—
住宅使用料に関する各種係数の設定	—
市営住宅内駐車場利用に関する現況調査	—
指定管理者制度の導入に向けた業務の整理、事例調査	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	

組織マネジメントシート

宣言④	迅速で正確な事務処理を行います！
担当	用地対策課
『総合計画』の施策との関わり	—
組織紹介	<p>用地対策課の主な事業は、市所管の公有財産（道路、河川、水路等）の境界確認と公共事業用地の取得となります。</p> <p>境界確認においては、近年の土地に関する権利意識の高まりもあり、土地の売買や家屋の建築に伴う申請が多く寄せられるなか、迅速かつ正確な処理が求められます。また、用地取得においても関係者の方々に、ご理解、ご納得いただいたうえでご協力いただけるようきめ細かな対応が求められます。</p> <p>いずれの業務も土地に関する専門的な知識はもちろん、道路や河川、不動産登記、税など様々な知識が必要となることから、平成 29 年度においても各種研修会に参加することにより個人のスキルを磨くとともに、職員間の情報共有を図り組織力の向上に努めていきます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	用地対策事業費	境界立会い申請受理から官民境界立会い実施までの期間	3週間以内	—	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
未登記物件の削減 (過去の事業用地)	—
公共用地の用途廃止に関すること	—
公共用地の寄付、交換、帰属に関すること	—
法定外公共物に関すること	—
公共事業用地の取得	—
「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づく届出・申出に関すること	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	

組織マネジメントシート

宣言⑤	市民が住みやすく誇りをもつことが出来るまちづくりの方針を示します！		
担当	都市計画課		
『総合計画』の施策との関わり	6-④ まちづくりの推進 6-⑤ 景観の保全		
組織紹介	<p>松阪市は、自然環境に大変恵まれた景観を有し、また城下町の都市構造を基盤として、主要な街道が集まる交通の要衝として繁栄した、歴史と文化に培われた歴史的なまち並みが残ります。これらの美しく豊かな景観を、次世代まで継承していくことは重要な責務と考えています。</p> <p>「松阪市景観計画」は策定から8年が経過し、景観に関する状況が変化中、都市計画課ではその運用等における課題とその解決方法を検討した結果、平成29年度以降により良い景観形成を実現するために景観計画の見直しを行うこととしています。</p> <p>現在進めている景観重点地区候補地の地域の景観まちづくり活動を支援し、重点地区指定に向けた取組も引き続き行います。</p> <p>一方では、人口減少・超高齢化に伴う空地・空き家の増加によるコミュニティの衰退や防災・防犯上の危険性並びに税収の減少や社会保障費の増大による地方財政の逼迫が現実味を帯びてきている中で、長期的に現在の暮らしやすさとまちの活力を維持していくため、社会情勢の変化に対応できるまちづくりが必要とされています。</p> <p>そのために、松阪市の顔である中心市街地が元気で魅力あるまちになるよう、公共施設の配置を中心とした実効性のある土地利用計画を作成し、その計画を進めていきます。</p> <p>また、松阪市の都市計画に関する基本的な方針において、社会情勢の変化に伴う対応や作成から10年が経過する事から「松阪市都市計画マスタープラン」の現状と課題、将来フレーム、将来都市像、土地利用計画等について必要な見直しを行うとともに、今後の課題に対応するため都市構造を見直し、住宅及び医療施設、福祉施設、商業施設などの都市機能の増進に著しく寄与する施設の立地の適正を図るための計画（「立地適正化計画」）について、平成30年度完成めざし取り組んでいます。</p>		

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	屋外広告物事業費	屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数	2回	6-⑤	—	—
2	都市計画審議会事業費	都市計画審議会の開催回数	1回	6-④	—	—
3	都市景観推進事業費	松阪市景観計画庁内推進会議の開催回数	2回	6-⑤	—	—
4	都市計画マスタープラン策定事業費	庁内作業部会の開催回数	5回	6-④	—	—
5	中心市街地整備事業費	生き生きプラン推進会議の開催回数	5回	6-④	—	—
6	都市計画変更事業費	都市計画変更等の検討回数	1回	6-④	—	—
7	「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画作成事業費	「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画の完成	5月	6-④	—	—
8	都市計画一般経費	先進地視察	1回	—	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						

組織マネジメントシート

その他の取組について	
取組名称	期末評価
景観法の行為による届出事務（計画の規模・配置・形態・意匠・色彩・緑化等に関する指導）	—
景観重点地区への歴史的まちなみ修景整備事業補助金事務	—
屋外広告物の許可・指導事務	—
景観の保全と意識の向上を推進するため、景観絵画コンクールの開催と巡回展示	—
松阪市統合型 GIS の管理及び都市計画図等のコピー及び販売	—
駐車場法の届出事務	—
都市計画道路の都市計画法 53 条に関する事務	—
交通バリアフリー法の基本構想に関する事務	—
" 豪商のまち松阪" 生き生きプランの推進	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）	
評価理由（期末記入欄）	
* * * * *	
* * * * *	

組織マネジメントシート

宣言⑥	営繕工事を適正に実施します！
担当	営繕課
『総合計画』の施策との関わり	—
組織紹介	<p>営繕課は、松阪市で実施する公共施設内での営繕工事及びその関連業務を事業主管課からの依頼により実施しています。</p> <p>安全で安心して使用できる施設を構築し、快適で機能の充実した施設とすることを目指しています。更に、誰もが利用できるユニバーサルデザインに基づいた施設として、市民の利用しやすさを考慮して施設設計及び工事を行っています。</p> <p>又、工事に伴って財政上の効果を上げ、完成後の運営においても適正な管理が行えるように考慮して対応しています。</p> <p>平成 29 年度は、計画に基づく設計や工事等が適正に実施できるよう課内の連携を密にし、職員が一丸となって業務を遂行できるよう図っていきます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	営繕管理事業費	適正な営繕業務の実施	111 件	—	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
工事等の発注業務を適正に実施する。	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	

組織マネジメントシート

宣言⑦	適切かつ円滑な建築・開発行政を行います！
担当	建築開発課
『総合計画』の施策との関わり	6-④ まちづくりの推進
組織紹介	<p>建築開発課は、平成17年4月1日より「特定行政庁」となり、建築確認・許可等の建築基準法に関する全ての事務を行っており、平成29年度からは、三雲・嬉野管内の開発指導にも対応します。将来的には、三重県より開発許可の権限移譲も予定しています。</p> <p>建築行政は、構造計算書偽装事件以降、建築確認審査はより厳格かつ円滑な審査が求められ、また毎年法改正もあり、道路・建築・開発相談及び指導等においても、益々複雑になってきていることから、職員の人材育成・能力向上に注力しています。</p> <p>平成28年度より、市民の命を守り安全で安心な生活環境を実現するために、「松阪市耐震改修促進計画」を改正施行し、周知・啓発に努めています。</p> <p>また、平成29年度に実施する建築確認電子台帳整備事業により、災害等により紙媒体が滅失した場合でも、電子データが安全に保管されるとともに、建築計画概要書等の開示請求の迅速な対応も可能となることから、さらなる市民サービスの向上をめざします。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	建築開発事業費	事前相談等の処理日数	7日以内	6-④	—	—
2	建築確認電子台帳整備事業費	建築計画概要書等の電子化	70,000件	6-④	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
松阪市耐震改修促進計画の周知啓発	—
狭あい道路整備の推進	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	

